

## 令和6年度第7回

### 浜松市障がい者自立支援協議会企画会議会議録

1 開催日時 令和7年3月6日（木） 午前10時00分～正午

2 開催場所 浜松市役所 3階 32会議室

#### 3 出席状況

エリア連絡会名	所属	出席者氏名		
中エリア連絡会	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海		
	中央福祉事業所社会福祉課	成瀬 香		
東エリア連絡会	東障がい者相談支援センター	平野 明臣		
	中央福祉事業所（東）社会福祉担当	中谷 知由		
西エリア連絡会	西障がい者相談支援センター	袴田 章彦		
	中央福祉事業所（西）社会福祉担当	杉森 泉		
南エリア連絡会	南障がい者相談支援センター	大場 拓弥		
	中央福祉事業所（南）社会福祉担当	欠席		
北エリア連絡会	北障がい者相談支援センター	金森 勇人		
	浜名福祉事業所（北）社会福祉担当	梶田 和彦		
浜北エリア連絡会	浜北障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太		
	浜名福祉事業所社会福祉課	島田 佐栄実		
天竜エリア連絡会	天竜障がい者相談支援センター	那須 将司		
	天竜福祉事業所社会福祉課	小木 美澄		
医療的ケア児等支援コーディネーター		阿部 祥美		
		高 真喜		
事務局	障がい者基幹相談支援センター		後藤 翔一朗	
			玉木 祐次郎	
			野島 和樹	
			小杉 茉巳	
			本宮 早奈映	
	障害保健福祉課	企画・相談グループ		大庭 靖史
				白柳 麻衣子
				鈴木 史哉

#### 4 議事内容

- (1) 各エリアにおける課題について
- (2) 専門部会活動報告について
- (3) 障がい者自立支援協議会次年度体制について
- (4) 令和7年度年間スケジュールについて
- (5) その他

5 会議録作成者 障害保健福祉課企画・相談グループ

6 記録の方法 発言者の要点記録  
録音の有無 無

#### 7 会議記録

(1) 各エリアにおける課題について

○中エリア

- ・令和6年度については支援者間のつながり作りを意識し活動した。
- ・課題として、地域の課題の抽出がなかなかできていないため、地域課題検討部会等を活用して課題を焦点化していく必要がある。
- ・当事者の方からの意見の吸い上げがなかなかできていない。支援者の方からの意見の吸い上げを行う機会を設定したい。

○東エリア

- ・交通の便が悪く、移動手段が課題である。
- ・ショートステイの事業所が少ないことに加え、計画相談（1人事業所）が4カ所となっている。
- ・当事者の意見の吸い上げがなかなかできていない。支援者の方からの意見の吸い上げはあるが、当事者本人の意見を聞き取る機会がなく、課題と感じている。

○西エリア

- ・今年度は体制作りをメインで行ってきた。今後は地域での課題を吸いあげた後に、エリアでの活動として、地域の力をあげていくための活動を検討していきたい。
- ・人材不足が課題と感じているため、挙がってきた課題について、対応しきれない可能性がある。

○南エリア

- ・南エリア連絡会の体制作りについて、当事者と地域の実情と防災について意見を多くもらった。
- ・こどもに関する課題があるため、こどもの支援に関するワーキングを南エリ

アでも検討していく。

- ・地区部会でネットワークづくりを行っていく。

○北エリア

- ・中間山地域の社会資源の少なさ、事業所の所在地に偏りがある。
- ・利用したいサービスの選択の幅に制限があり、移動について課題を感じている。

○浜北エリア

- ・浜北ネットワーク部会で、横のつながりはあるが縦のつながりが薄いと感じている。
- ・ライフステージごと繋がりを検討するために、ワーキングを立ち上げる予定。
- ・アセスメントについてどのように共有していくか。
- ・共同支援会議で当事者が発信する場を医療的ケア児等相談支援センターとも共同していく。
- ・次年度から相談支援部会の立ち上げについて、計画相談の受入れ現状を整理していただきたい。

○天竜エリア

- ・社会資源の少なさが課題である。
- ・次年度については、8050問題に合わせた体制作りを行っていく。
- ・通所に当たる交通費が課題である。
- ・こどもに関して、放課後等デイサービスがないので隣接するエリアに頼っているおり、送迎について課題がある。
- ・放課後児童クラブにおいても、こどもの居場所を含めた支援体制を検討していく。

**【意見及び質疑応答】**

- ・エリアの課題の記載方法について、市協議会全体会と同様のテーマでの報告かエリアでの活動に沿ってまとめた方がよいか分かり辛いという意見があったため、エリアからの課題の抽出方法については別途整理した上で再度案内する。
- ・エリアからの課題抽出については、共同支援会議のような個別ケースからの吸い上げが今までの流れになっていたが、表面化していない課題もあると認識しているため、そのような課題についても広く抽出し、エリアごとの課題を見える化していきたい。
- ・エリアの課題については、抽出した上で、市全体会での報告方法を再度検討し、企画会議で協議を行いたい。

(2) 専門部会活動報告について

資料を元に説明

【質疑応答】

○生活部会のモニタリングの抽出及び検証ワーキングについて、浜松市内でグループスーパービジョンを活用していくとあるがどのように展開していく予定か。

- ・機能強化の事業所等が中心となって展開していければという形で整理を進めている。

(3) 障がい者自立支援協議会次年度体制について

資料を元に説明

- ・相談支援部会について、相談体制、相談支援における機能、役割の整理、人材育成等について協議していく。

(4) 令和7年度年間スケジュールについて

- ・日中サービス支援型グループホーム評価について、次年度は対象事業所が多いため、どのように事業者に対しフィードバックを行うかを検討する必要がある。

(5) その他

- ・当事者部会で挙げた意見について、各エリア連絡会の構成員には知的障害以外の障害者団体からも参画できないかとの意見があった。こちらについて様々の種別の障害の方からの意見集約が出来るよう、検討をお願いしたい。

次回企画会議

日時：5月22日（木）10時～

会場：32会議室